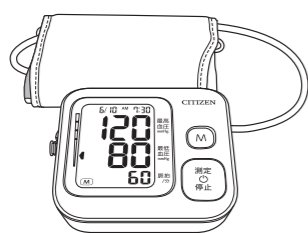


取扱説明書

シチズン上腕式血圧計

CHUFシリーズ

CHUF312-MK



- ご使用前に本書を必ずお読みください。
- 本書は保証書を兼ねています。紛失しないよう大切に保管してください。
- ご使用中は必ず本書をお手元に置いてください。

1. 本体付属品

以下の物がそろっているかご確認ください。

- 本体**
- カフ(腕帯)**
型式: SCN-011
- 単4形アルカリ乾電池4本 (モニター用)**
- 取扱説明書/保証書**
- 医療機器添付文書**
- EMC技術資料**

2. 安全上のお願い

ご使用前に、この「安全上のお願い」をよくお読みください。

警告 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合

注意 人が傷害を負ったり、物的損害*の発生する可能性が想定される場合

*物的損害とは、家屋、家財および家畜、ペットにかかわる拡大損害を示します。

強制 必ず実行していただく「強制」内容です。

禁止 してはいけない「禁止」内容です。

警告

測定結果の自己判断、および治療は危険です。必ず医師の指導に従ってください。
→ 自己判断は、病気の悪化につながるおそれがあります。

心臓疾患、その他循環器疾患、重度の血行障害のある方、ペースメーカーをご使用の方や乳腺切除した方は、医師の指導に従ってください。
→ 体調不良をおこすおそれがあります。

電池の液が目に入ったり、皮膚に付着したときは、すぐに多量の水で洗い流し、医師の治療を受けてください。
→ けがなどの原因になります。

この血圧計のエアホースソケットやカフのエアホースプラグの形状は、国際規格で規定されているものとは異なるため、他の医療機器や器具と誤接続が発生する可能性があります。血圧計の近くで他の医療機器や器具を使用する場合、誤接続を防ぐ対策を講じてください。
→ 誤接続状態で使用すると、事故やけがのおそれがあります。

分解・修理・改造をしないでください。
→ 事故やけがのおそれや、本体が故障する原因になります。

注意

お子様や意思表示ができない方へのご使用はおやめください。
→ 事故やけがの原因になります。

長時間連続して測定しないでください。
→ うっ血、はれなどの原因になります。

血圧測定以外に使用しないでください。
→ 事故やけがの原因になります。

血圧計の近くで、携帯電話などを使用しないでください。
→ 誤作動をおこすおそれがあります。

古い電池と新しい電池、種類のちがう電池を同時に使用しないでください。

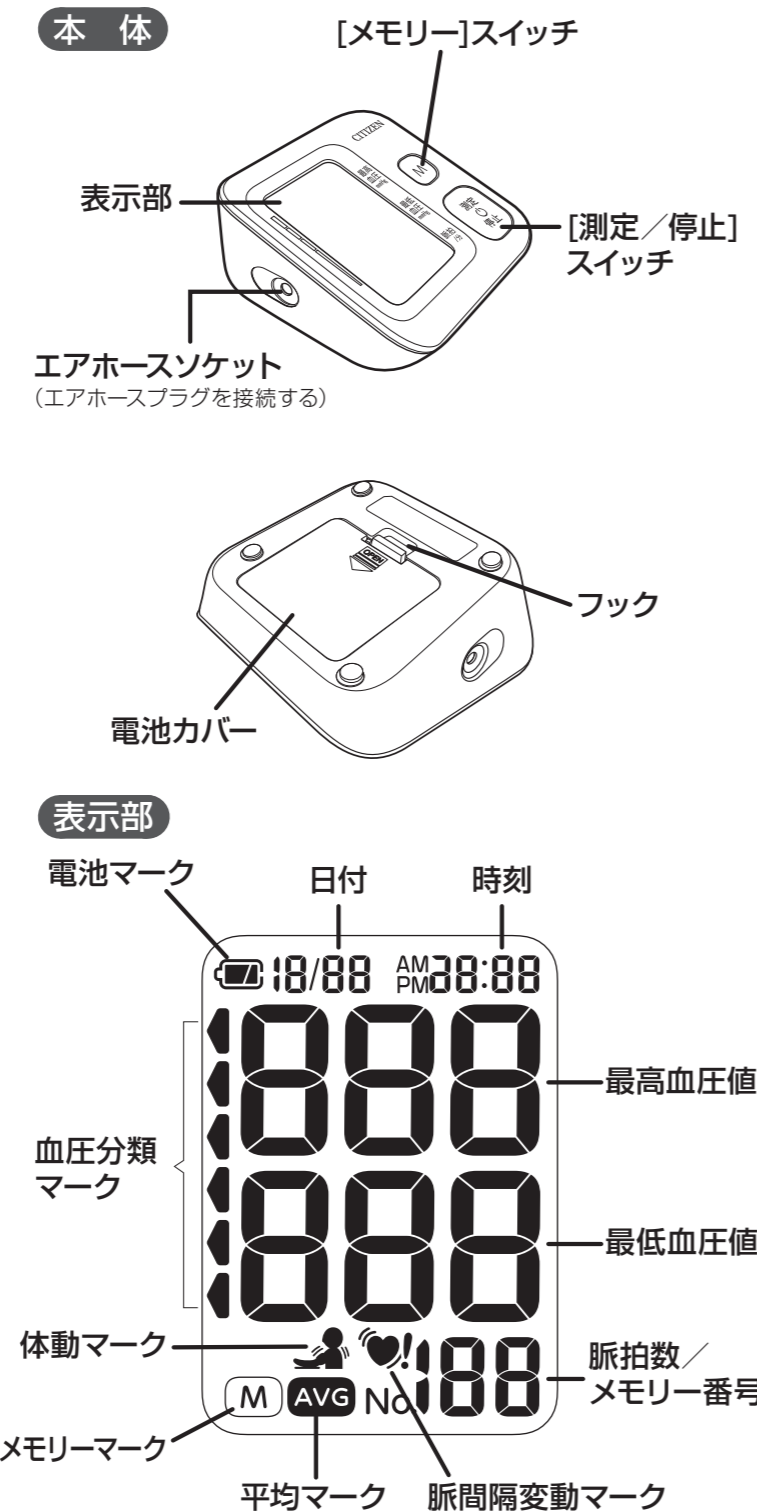
電池の向きを間違えないようにしてください。
→ 漏液、発熱、破裂などをおこし、本体が破損する原因になります。

本体に無理な力を加えたり、落としたりしないでください。
→ 故障の原因になります。

3. 測定時の注意点

- 測定前に5～6回深呼吸をし、リラックスして測定してください。(緊張時や、精神状態が不安定なときは、血圧が安定しません。)
- 睡眠不足や便秘のとき、または運動や食事の後でも血圧は高くなります。
- 飲酒の後や入浴直後には測定をおこなわないでください。
- 尿意や便意があるときは、排尿や排便をすませてから測定してください。
- 20℃前後の室温で測定してください。寒さは血圧を上昇させます。
- コーヒーや紅茶などを飲んだり喫煙した直後は、正しい値が得られません。
- 連続して測定をおこなわないでください。上腕がうっ血して正しい値が得られません。必ず間隔(1分以上)をあけてから測定してください。
- 正しい姿勢で安静にして測定してください。カフを心臓の高さに保ち、腕を動かしたり、話をしないでください。正しい姿勢が難しい場合はいつも同じ姿勢で測定してください。
- エアホースを折り曲げた状態で使用しないでください。
- 血圧は長期のデータを見るのが大切です。お薬(血圧を下げる薬など)を服用した時間も考慮して、一日のうちで最も安定した状態が保てる時間帯を選んで、毎日できるだけ同じ時刻に測定しましょう。
- 測定中に体に異常を感じたり、気分が悪くなったりした場合には、使用を中断して医師の指導を受けてください。

4. 各部のなまえと機能

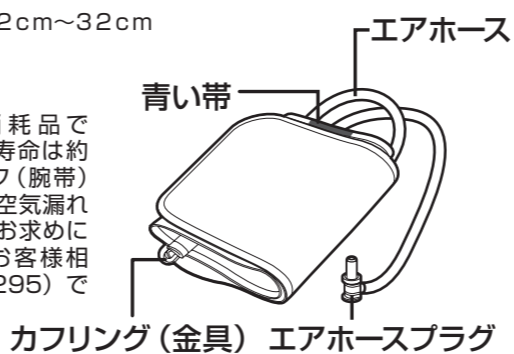


カフ(腕帯)

※適用腕周範囲: 22cm～32cm

型式: SCN-011

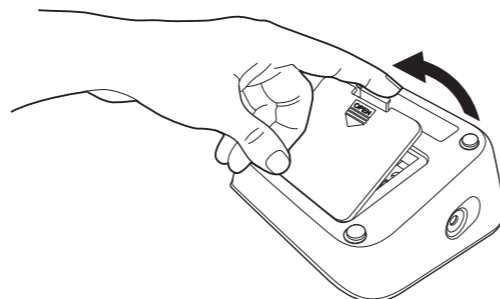
※カフ(腕帯)は消耗品です。カフ(腕帯)の寿命は約2,000回です。カフ(腕帯)が汚れたり、破損や空気漏れするなどして新しくお求めになる場合は、弊社お客様相談室(0120-88-6295)でお受けします。



5. 電池を入れましょう

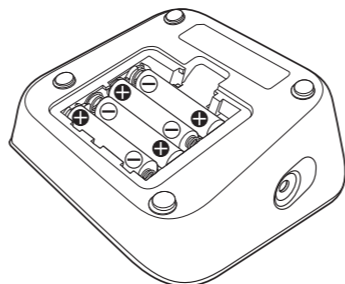
1 電池カバーを外します

フックに指をひっかけて、手前に引くようにして開けます。



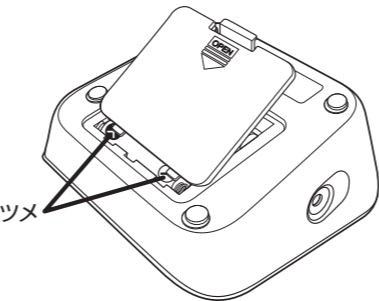
2 電池を入れます

⊕ ⊖を間違えないように必ずパネの出ている⊖側から入れてください。



3 電池カバーを閉めます

ツメをくぼみに合わせ、「カチッ」と音がするまで電池カバーを閉めます。



※電池交換の場合は、電池を交換してもメモリーは保持されています。
※電池を入れたら、時計を合わせてください。
※時計を合わせなくても、血圧測定は可能です。時計を合わせると日々の測定結果を時刻とともに記録することができます。

- または □ マークが表示されたら、4本同時に電池を交換してください。(充電をご使用の場合は充電してください。)
- アルカリ電池、マンガン電池、ニッケル水素充電電池※を混ぜて使用しないでください。
- 付属の電池はモニター用ですので、所定の電池使用回数を満たさない場合があります。
- アルカリ電池、マンガン電池、ニッケル水素充電電池以外は使用しないでください。
- ニッケル水素充電電池は専用の充電器で充電してからご使用ください。
- ご使用済みの電池は、お住まいの自治体のルールにもとづいて正しく処分してください。
- ※ニッケル水素充電電池は、エネルーブまたは充電式エボルタをご使用ください。

6. 時計を合わせましょう

ポイント 本製品は測定結果を、日付・時刻とともに記録することができます。時計を常時表示させることもできますので、毎日同時刻に測定するなど、日々の健康管理にお役立てください。

※時計設定をしないで測定した場合は、測定結果に日付・時刻は記録されず、血圧の測定結果のみ測定した順に記録されます。

■時計合わせの手順

● 時計は以下の手順で合わせます。

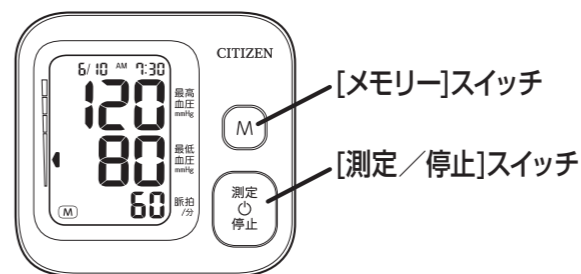
① 西暦年 → ② 月 → ③ 日 → ④ 時 → ⑤ 分 → ⑥ 12/24 時間表示 →

⑦ 時計表示 (ON/OFF)

Ⓜ を押す毎に時計設定箇所が点滅します。

■時計を合わせましょう

例として「2020年6月10日午前7時30分」に時計を合わせる手順を説明します。



Ⓜ を3秒以上長押ししてください。
時計合わせの「西暦年」が点滅しますので、以下①から順に設定してください。

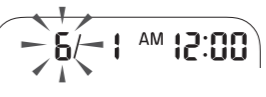


① Ⓜ を押して「西暦年」を合わせます

Ⓜ を押す度に数字がひとつずつ大きくなります。設定可能な上限値を超えると始めに点滅した数字にもどります。数字を合わせたら、Ⓜ を押してください。「西暦年」が確定し、「月」が点滅します。

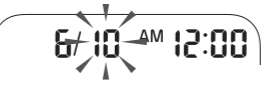
② Ⓜ を押して「月」を合わせます

Ⓜ を押すたびに、数字がひとつずつ大きくなります。数字を合わせたら、Ⓜ を押してください。「月」が確定し、「日」が点滅します。



③ Ⓜ を押して「日」を合わせます

Ⓜ を押すたびに、数字がひとつずつ大きくなります。数字を合わせたら、Ⓜ を押してください。「日」が確定し、「時」が点滅します。



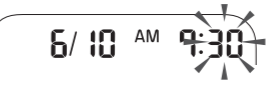
④ Ⓜ を押して「時」を合わせます

※ AM ~ 午前 PM ~ 午後
Ⓜ を押すたびに、数字がひとつずつ大きくなります。数字を合わせたら、Ⓜ を押してください。「時」が確定し、「分」が点滅します。



⑤ Ⓜ を押して「分」を合わせます

Ⓜ を押すたびに、数字がひとつずつ大きくなります。数字を合わせたら時報などを確認して、Ⓜ を押してください。「分」が確定し、「12H」または「24H」が点滅します。

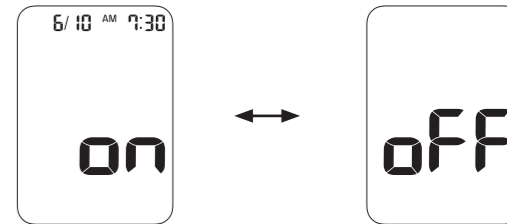


⑥ Ⓜ を押して「12/24」時間表示を選びます

Ⓜ を押すたびに、「12H」と「24H」が切り替わります。
● 例: 午後1時の場合・・・12H → PM1:00 24H → 13:00
お好みで合わせたら、Ⓜ を押してください。「12/24」時間表示が確定し、「ON」または「OFF」が点滅します。

⑦ Ⓜ を押して時計の表示有り又は表示無しを選びます

Ⓜ を押す度に、表示有り (ON)、表示無し (OFF) が切り替わります。



Ⓜ を押して時計の表示方法を確定し、時計設定が終了します。

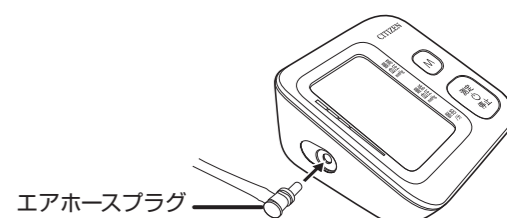
■時計を修正する場合

いずれかの設定(時計や表示方法等)を修正する場合は、設定を最後まで終了させた状態で、Ⓜ を3秒以上長押ししてください。画面に「西暦年」が点滅しますので、「6. 時計を合わせましょう」の手順①から操作してください。

7. カフ(腕帯)を巻きましょう

- カフ(腕帯)は素肌、もしくは薄い肌着の上から巻いてください。
- 厚い上着を着ている場合は、脱いでからカフ(腕帯)を巻いてください。また、衣服などをまくり上げると上腕部が圧迫されて正しく測定できない場合があります。
- 腕周囲が22cm未満の方、32cmを超えた方が測定した場合、正しく血圧を測定できない場合があります。

① エアホースプラグを本体に差し込みます



② カフ(腕帯)を左腕に通します

※ カフ(腕帯)がカフリング(金具)から外れた時は、面ファスナーが付いている面が外側になるようにカフリング(金具)に通してください。

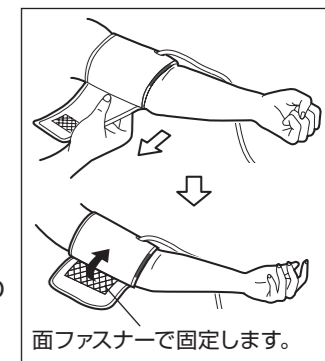


③ カフ(腕帯)の青い帯を腕の中心に合わせます

青い帯
ひじ関節から1~2cmの位置に合わせます

④ カフ(腕帯)を腕にぴったり巻きつけ、面ファスナーで固定します

巻きつけがゆるすぎたり、きつすぎたりすると、正しく測定できないことがあります。



右腕でも測定できます

右腕で測定するときも青い帯を腕の中心に合わせてください。
※血圧は左右で10 mm Hg程度の差がでる場合がありますので、毎回同じ側の腕で測定してください。

